

令和6年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	7.13水害20年事業	事業経緯	新規	実施体制	協力	担当所属	新潟支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業			事業区分	体験活動等

1. 事業目的

信濃川流域に甚大な被害をもたらした平成16年7月新潟・福島豪雨(7.13水害)から20年。各種防災対策が進み、防災への意識が薄れてきている一方、近年は気候変動が激化し災害の危険性はさらに増大している。この節目を機に、7.13水害から得られた教訓と防災技術を後世に伝え、安全・安心な地域づくりに活かすことを目的に各種事業を展開する。

2. 事業実施体制

主催: 7.13水害20年プロジェクト実行委員会
見附市、三条市、新潟市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、新潟県土木部・三条地域振興局地域整備部・長岡地域振興局地域整備部
新潟地域振興局地域整備部・新潟地域振興局新津地域整備部、国土交通省信濃川下流河川事務所
協力: (一社)北陸地域づくり協会

3. 事業概要

◆7.13水害20年プロジェクト(インフラバスツアー)

▶ 五十嵐川コース

日時: 令和6年10月6日(日) 9:00~12:30

行程: 三条市水防学習館~五十嵐川水害復興記念公園
~五十嵐川遊水地~道の駅「漢学の里しただ」~大谷ダム

参加者: 18名

▶ 刈谷田川コース

日時: 令和6年10月27日(日) 9:00~12:10

行程: 見附市役所~道の駅「パティオにいがた」・刈谷田川防災公園
~田んぼダム~刈谷田川遊水地~道の駅「R290とちお」
~刈谷田川ダム

参加者: 20名

・案内者: 各施設管理者

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本事業は、7.13水害以後整備されてきた防災・減災の拠点となる施設、あるいは水害の記憶を伝承する施設を主に巡ることを通じ、治水事業への理解を深め、防災意識の向上を図ることを目的とする。

参加者に対して実施したアンケートでは、普段見ることができない施設を見学できてよかった、説明が分かりやすかった、水害の状況がよくわかった等の評価を得た。また、川や流域の管理に多くのステークホルダーがいること、また防災についてあらためて考えるきっかけとなった。「流域治水」について興味を持たれたという感想もあり、水害を自分事化する契機にもなったと推察される。



五十嵐川コース
(水害復興記念公園/大谷ダム)



刈谷田川コース
(田んぼダム/刈谷田川ダム)

